



## 令和6年度 第2回パラメンタリーディベート講習会兼ディベート交流会

京都公立高等学校長会 国際・外国語系部会  
一般社団法人パラメンタリーディベート人財育成協会 (PDA)

開催日時：2024年11月3日(日) 13:30-17:00

会場：京都市立日吉ヶ丘高等学校

参加者：生徒 39名、教員 16名 (京都市立日吉ヶ丘高等学校、京都府立嵯峨野高等学校、  
京都府立東宇治高等学校、京都市立開建高等学校、京都府立鳥羽高等学校、京都府  
立洛北高等学校、京都市立堀川高等学校)

ジャッジ：PDA スタッフ、PDA 認定教育ジャッジ、東京外国語大学、東京大学

京都市立日吉ヶ丘高等学校に7高校10チームが集い、7月に続き2回目となる即興型英語ディベート京都交流大会2024が開催されました。はじめに、京都市立日吉ヶ丘高等学校の太山校長先生より開会のご挨拶をいただきました。「私たちが VUCA の時代を生きていくために、ディベートで培われる力は重要です。ディベートでは批判的に考える力が養われます。自分とは異なる考えをよく聞いて、協力し合うことも必要になります。他校の生徒と交流する機会でもあります。交流大会を楽しんでください。」と英語でエールが送られました。

続いて、参加校の紹介が行われ、各校が息を合わせて「頑張るぞー！」と元気よく挨拶しました。その後、POI (Point of Information: ディベート中の質疑応答) の練習やルール確認を行い、いよいよディベートがスタートしました。



太山校長先生の挨拶



全員で POI の練習

1 ラウンド目の論題は、“**The establishment of casinos brings more harm than good. (カジノの設立は利益よりも害をもたらす。)**”でした。肯定側は、ギャンブル依存症への懸念や治安の悪化、さらには国際犯罪との関連性など、カジノ設立に伴うリスクについて議論しました。一方で、否定側は、カジノが地域や国の経済を潤し、観光客の増加や雇用創出につながるといった利点を強調しました。双方のチームがそれぞれの立場から説得力のある議論を展開しました。ディベートが終了すると、参加者たちは相手チームと握手を交わし、「何年生か」「7月のディベート交流大会に参加したか」など話題にしながらか交流を深めました。

その後、ジャッジから試合のフィードバックが伝えられ、参加者はさらなるスキル向上のヒントを得る機会となりました。

続く2ラウンド目の論題は“**Gifted students should be allowed to skip grades in schools.**  
(優秀な生徒には飛び級を認めるべきだ。)”でした。肯定側は、飛び級が生徒の才能を最大限に伸ばし、学びにおける停滞感や退屈感を解消し、将来のキャリア形成にもプラスになると主張しました。一方、否定側は、生徒の社会性や精神的な成熟度を考慮せずに飛び級を認めることで、同世代との関係構築が難しくなるリスクや、学びの基盤が十分に形成されない可能性について懸念を示しました。このラウンドでも、両チームが立場に基づいて論理的かつ情熱的に議論を繰り広げました。ディベート後には再び相手チームと握手を交わし、試合を振り返る中で親睦を深めました。



スピーチの様子：嵯峨野 A VS 日吉ヶ丘



スピーチの様子：堀川 VS 嵯峨野 B



画面の向こうのジャッジに向かって堂々とスピーチする様子



時にはジェスチャーを交えながら、自信を持ってスピーチしています

2回の実践を終えると、ジャッジによる「ぜひこの生徒のスピーチをもう1度聞きたい」という推薦に基づいて選出された生徒によるエキシビジョンディベートです。まずはその代表者6名が発表されました。論題は、“**We should spend more money on space exploration.** (宇宙探査によりお金をかけるべきである。)”でした。友人や他校の生徒、学校の先生が見ている中、全員が時間いっぱい堂々とスピーチをしました。お互いによくスピーチを聞き、しっかり内容を理解した上で反論や再構築に取り組む姿が見られました。



エキシビジョンディベートでのディベートの様子

閉会式では表彰式のあと、京都府立北稜高校の荒田校長先生より閉会のご挨拶をいただきました。「ディベートを通して、理由や背景などを、説得力を持って説明していく力が身についていくのだなということを皆さんのディベートを見て実感しました。皆さんが新しい時代を作っていくのだなと思います。これからも頑張ってください。」と激励のメッセージが送られました。



荒田校長先生によるご挨拶



集合写真

## 【表彰】

### 〈エキシビジョンディベータ賞〉

・ PM	日吉ヶ丘高校	_____さん
・ LO	日吉ヶ丘高校	_____さん
・ MG	堀川高校	_____さん
・ MO	鳥羽高校	_____さん
・ LOR	洛北高校	_____さん
・ PMR	嵯峨野高校	_____さん



### 〈ベストディベータ賞〉 ★は2回選ばれた生徒

- \_\_\_\_\_さん (嵯峨野 B) ★
- \_\_\_\_\_さん (日吉ヶ丘) ★
- \_\_\_\_\_さん (洛北) ★
- \_\_\_\_\_さん (堀川)
- \_\_\_\_\_さん (嵯峨野 A)
- \_\_\_\_\_さん (嵯峨野 A)
- \_\_\_\_\_さん (日吉ヶ丘)
- \_\_\_\_\_さん (鳥羽 B)
- \_\_\_\_\_さん (鳥羽 A)
- \_\_\_\_\_さん (開建 B)
- \_\_\_\_\_さん (開建 B)
- \_\_\_\_\_さん (開建 A)
- \_\_\_\_\_さん (東宇治)
- \_\_\_\_\_さん (東宇治)



〈ベスト POI 賞〉 ★は 2 回選ばれた生徒

- \_\_\_\_\_さん (嵯峨野 B) ★
- \_\_\_\_\_さん (嵯峨野 A)
- \_\_\_\_\_さん (日吉ヶ丘)
- \_\_\_\_\_さん (洛北)
- \_\_\_\_\_さん (鳥羽 B)
- \_\_\_\_\_さん (鳥羽 A)
- \_\_\_\_\_さん (開建 B)



〈チーム賞〉

- 1 位 嵯峨野高校 B チーム
- 2 位 日吉ヶ丘高校
- 3 位 開建高校 B チーム
- 4 位 洛北高校
- 5 位 堀川高校



1 位 嵯峨野 B



2 位 日吉ヶ丘



3 位 開建 B

## 参加者の声（アンケートより抜粋）

- ・自分の意見を即興で英語言うのは難しく無理だと思っていたが、自分が思う以上にやればできるとわかった。（東宇治）
- ・色んな人と交流出来たり、色んな人の意見が聞けたり、英語でのディベートが出来て楽しかったです！ディベートが楽しかったのはもちろんですが、色んな高校の人とディベートを通じて関わって貴重な経験になりました！（東宇治）
- ・自分を褒めたい。よく頑張った。（開建）
- ・初めて参加できて楽しかった、勝てたのも嬉しかったし、みんな凄いなと思った。（開建）
- ・初めてでしたが、その中で一度ベストディベートに選ばれてとても自信がつけました。ただ文章を見返すと最後のまとめの的なことがなかったりしたので今後そこも改善したいと思いました。（開建）
- ・普段使わない英語を何とかひねりだして意見を言うことが難しかった。でも前の交流会よりも喋ることが出来た。（鳥羽）
- ・自分の課題点や前回と比べて成長したところが理解できてよかったです。（鳥羽）
- ・本当に楽しかった。（洛北）
- ・今日は初めての体験でしたが楽しかったです。自分の意見を表現することでアドバイスをもらえて、これからの練習に活かしていきたいと思いました！（洛北）
- ・英語がたくさん使えてとても面白かったです。もっと改善できる場所もあったのでまた頑張りたいです。（日吉ヶ丘）
- ・とても貴重で実りのある体験だった。（日吉ヶ丘）
- ・POIを2試合ともできて、POI賞に選んでいただけて嬉しかったし、チームのみんなのスコアアップにも貢献できたのでよかったです。（嵯峨野）
- ・他校の人とディベートできる良い機会になったので、また機会があれば参加したいです。（嵯峨野）
- ・様々な高校の試合が楽しめ、改善点などを得られたのと同時に、その楽しさを改めて知ることができました！（嵯峨野）
- ・他校との交流で自分の弱点を気づけて良かったです。（堀川）
- ・自分の summarize の不足がよくわかりました。議論の一般化を試みてそれに執着して結局全体の意見からの強化ができていないと気づく機会を与えてくださり感謝です。また他校様の練習や実践の風景を見ることができ得る物が多かったです。（堀川）
- ・2回目の参加でしたが、前回に比べて生徒同士さらに交流が広がっているようです。（教員）